

氏名	西内 恭子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3458 号
学位授与の日付	平成19年6月30日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 Effects of an Education Program for Stress Reduction on Supervisor Knowledge, Attitudes, and Behavior in the Workplace: A Randomized Controlled Trial
(職域の管理監督者向けメンタルヘルス教育の知識、態度、行動における効果:無作為化比較試験)

論文審査委員 教授 荻野景規 教授 粟屋 剛 准教授 氏家 寛

学位論文内容の要旨

職場のストレス対策で重要視される管理監督者向けメンタルヘルス教育が、管理監督者の知識、態度、および行動にどのように影響を及ぼすかを無作為化比較試験で明確にしようと試みた。従業員 301 人の酒造業の管理監督者 46 人を対象に、介入群(24 人)と対照群(22 人)に割り付け、「労働者の心の健康づくりのための指針」に基づいて作成した基本講義と積極的傾聴訓練で構成される教育プログラムの実施前後で介入効果を検討した。知識、態度、および行動の測定は自記式調査票を用いた。介入効果評価は反復測定分散分析 (ANOVA)を用い、グループ (介入群と対照群) と時間 (介入前、介入 3 ヶ月後と 6 ヶ月後) との交互作用で解析した。知識は有意に介入群に上昇、行動にも上昇が見られ統計的にわずかに有意であった。態度には差がなかった。管理監督者へのストレスに関する情報とスキルの提供は、管理監督者の知識と行動を少なくとも 6 カ月間は改善することが示唆された。

論文審査結果の要旨

職場のストレス対策において、監督者への教育効果を検討するため、従業員 301 人の酒造業の全監督者 46 人を対象に、「労働者の心の健康づくりのための指針」に基づいて作成した基本講義と積極的傾聴訓練で構成される教育プログラムを用いて介入し、監督者の知識・態度・行動の変化を、無作為化比較試験で評価した。結果として、知識は介入群で有意に上昇、行動もほぼ有意な上昇が見られたが、態度では差がなかった。管理監督者へのストレスに関する情報とスキルの提供は、管理監督者の知識と行動を改善することが示された。本研究は、産業職場におけるメンタルヘルス対策として、管理監督者のストレスに対する情報とスキルの提供が必要であることを示したものであり、労働衛生学的に価値ある研究と思われる。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。